

News & Information

2016/6/16

〔東京大学との特許共同出願のお知らせ (ドラッグ・リポジショニング共同研究の成果)〕

この度、東京大学医学系研究科の水島昇教授とのドラッグ・リポジショニング (DR) 共同研究により、オートファジーを調節する既承認薬を複数発見し同大と共同で特許を出願しましたのでお知らせいたします。

記

1. 共同出願の概要

(1) 経緯

DRとは既に承認されている医薬品(既承認薬)の新しい薬理効果を発見し、別の疾患治療薬として開発する新しい創薬戦略です。既に臨床で使われている医薬品のためヒトでの安全性が確認されているため、臨床試験が失敗する可能性が少なく、既にあるデータを再利用することで開発にかかる時間とコストを削減できることがDRのメリットです。

当社はDRのリーディングカンパニーとして、独自に構築した既承認薬だけを集めた化合物ライブラリー(既承認薬ライブラリー)を用いて多くのパイプラインを創成してきましたが、昨年より更なるDR推進のため大学や他企業への既承認薬ライブラリーの無償提供を開始し、DRの共同研究事業を展開して参りました。

今回の東京大学との共同特許出願はその成果であります。

(2) 内容

東京大学医学系研究科の水島昇教授は、哺乳類オートファジー研究の第一人者であり、多くの研究成果を挙げ世界的に注目されています。

オートファジーは細胞が持っている細胞内のタンパク質を分解するための仕組みの一つであり、自食作用とも呼ばれています。最近の基礎研究から、オートファジーを高めたり阻害したりする薬物が、癌や神経変性疾患などに有用であることが分かってきました。

そこで当社は、水島昇研究室に既承認薬ライブラリーを提供し、共同でオートファジーを高めたり阻害したりする既承認薬を検索しました。その結果、興味深い既承認薬を複数発見し、東京大学と共同で特許を出願しました。

2. 今後の見通し

今後は、発見した既承認薬の評価を水島昇研究室はじめ多くの研究機関と共同で展開し、その医薬品としての有用性を検証します。その後、既に安全性が担保されている既承認薬の利点を活かし臨床試験を進めると共に、大手製薬企業へのライセンスアウトを目指します。

現在、水島昇研究室と共同で本研究成果の論文発表の準備を行っておりますが、発表後は多くの研究者から注目されると思われまますので、共同研究も多面的に展開でき出願特許の価値を高めることができると考えております。

臨床試験やライセンスアウトなど本件に関して進展がありましたらお知らせいたします。

以上